

優良工事の講評内容について

- 1 工 事 名 : (3)幸福地区下水道工事
- 2 請 負 業 者 : 株式会社 協栄土建
- 3 請 負 金 額 : 当初 55,000,000 円、最終 59,675,000 円
- 4 工 期 : 令和3年12月1日～令和4年3月30日
- 5 評 定 : 合計評定点 85 点

6 工事の講評

上記工事は、下水道工事共通仕様書に定める施工を遵守し、同種同規模の工事と比較して総合的に優れた管理が行われ、出来ばえにおいてもきめ細やかな施工を行っていることが優秀であった。

また、最新の測量機器の使用による測量精度と生産性の向上、新型コロナウイルス感染症対策の徹底した取組、冬季工事において他工事と並行して施工しなければならない制約があるなか積極的な工程調整より、余裕をもって工事を完成させたこと等についても評価でき、優良に値する。

① 工事特性について

- ・最新の測量機器(自動追尾型トータルステーション等)を使用し、土工出来形計測の基となる三次元化データを作成し、測量精度の向上による正確な出来形管理が行われていた。

② 創意工夫について

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、検温・消毒・3密を避ける取組のほか、災害防止協会ではオンライン参加が可能となる体制を整備するなどの感染防止対策が行われており、現場環境改善に工夫がみられた。

- ・オープン掘削断面での掘削及び管布設出来形の写真撮影時において、移動式安全通路を架橋する工夫がなされており、より安全な施工管理が行われていた。

以上

資料写真1 自動追尾型トータルステーションを使用した現況調査



資料写真2 マンホール内での電子黒板を使用した写真撮影



資料写真3 境界杭の動態観測



資料写真4 若年技術者の育成(働き方改革)



資料写真5 生産性の向上①、パイプレーザーの設置



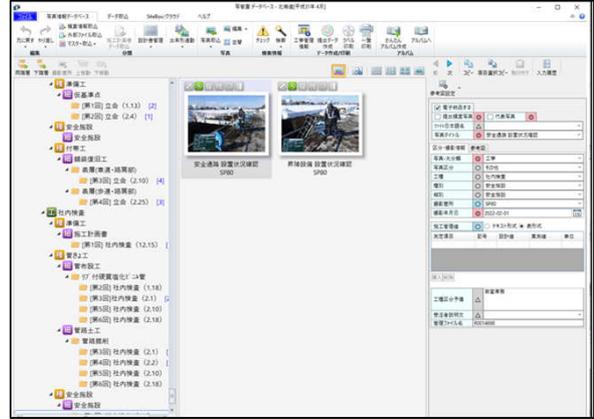
資料写真6 生産性の向上②、自動追尾トータルステーションを用いた調査・測量

方法	方法	作業人員	所要日数	延所要人数
従来のトータルステーションとレベル		2人	3日	6人
自動追尾トータルステーション	土工丁張り設置 (SP8.53~266.47)	1人	1.5日	3人
削減率		50%	50%	50%

資料写真7 重機による架線損傷の防止



資料写真8 データの共有と施工管理ソフトを利用した効率的な施工管理書類の整理



資料写真9 マンホール築造過程における接着効果の促進



資料写真10 安全な出来形写真管理



資料写真11 災害防止協議会において遠隔臨場参加での新型コロナウイルス感染予防対策



資料写真12 安全教育訓練の場における新型コロナウイルス感染予防対策



資料写真13 路面スリップ事故の未然防止



資料写真14 マンホール内作業前の酸素・硫化水素濃度の測定

